

IV. 2015～2017年度入学生用カリキュラム・フロー（情報工学科）

必修科目：
選択科目：

ディプロマポリシー	ディプロマポリシーの内容	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A1	<p>[専門基礎] 情報工学の基礎的な知識や技術を理解し、説明できるようになる。具体的には[情報工学の基礎全体]、[プログラミング]、[ソフトウェア設計・開発]、[ネットワーク]、[ハードウェア]に関する基礎的な知識や技術をよく理解し、平易な言葉で説明できることをさす。</p>	<p>情報工学実験Ⅰ (2)</p> <p>システムアドミニストレーションⅠ (2)</p> <p>プログラミング入門 (2)</p> <p>デジタル情報通信入門 (2)</p> <p>情報処理法(1)</p>	<p>情報工学実験Ⅱ (2)</p> <p>システムアドミニストレーションⅡ (2)</p> <p>情報テクノロジー基礎 (2)</p> <p>Webデザイン (2)</p> <p>インターネット工学 (2)</p> <p>情報管理法(1)</p>	<p>情報処理技術者演習Ⅰ (2)</p> <p>マネジメントとストラテジー (2)</p> <p>プログラミング開発基礎 (4)</p> <p>インターネットセキュリティ (2)</p> <p>電気回路Ⅰ (2)</p> <p>情報数学 (2)</p>	<p>情報テクノロジー応用 (2)</p> <p>プログラミング開発演習 (2)</p> <p>コンピュータネットワーク演習 (2)</p> <p>電気回路Ⅱ (2)</p> <p>セキュリティ理論 (2)</p>	<p>情報処理技術者演習Ⅱ (2)</p> <p>Webシステムプログラミング (2)</p> <p>システム開発 (2)</p> <p>電子情報工学実験 (2)</p> <p>電子回路 (2)</p> <p>知能ソフトウェア演習 (2)</p> <p>ユビキタスネットワーク演習 (2)</p> <p>情報メディア処理演習 (2)</p>	<p>ソフトウェア工学 (2)</p> <p>システム最適化 (2)</p> <p>モバイルシステム構築演習 (4)</p> <p>情報理論と確率モデル(2)</p>		
A2	<p>[専門応用] 情報工学の中・高度な知識と技術を、情報社会におけるさまざまな課題に応用して分析や解決することができるようになる。具体的には、[知能ソフトウェア]、[モバイルユビキタス]、[情報メディア]、[数理情報]などの分野に関する応用技術を用いて、中・高度な課題の分析や解決ができることをさす。</p>		<p>情報管理法(1)</p> <p>知能論理数学 (2)</p>	<p>情報数学 (2)</p>					
B	<p>[教養と社会] 工学に関する基本的な知識を体系的に整理し、理解したうえで、幅広い教養と豊かな人間性を養い、社会や人類に対する貢献ができるようになる。</p>	<p>人間の理解Ⅰ(健康と運動) (2)</p> <p>社会の理解Ⅰ(自然と環境) (2)</p> <p>体育実技Ⅰ (1)</p>	<p>人間の理解Ⅱ(民族と宗教) (2)</p> <p>社会の理解Ⅱ(政治と経済) (2)</p> <p>体育実技Ⅱ (1)</p>	<p>人間の理解Ⅲ(歴史と文化) (2)</p> <p>社会の理解Ⅲ(国際と平和) (2)</p>	<p>人間の理解Ⅳ(心理と行動) (2)</p> <p>社会の理解Ⅳ(法律と人権) (2)</p> <p>自己管理と社会規範 (1)</p> <p>日本国憲法 (2)</p>	<p>ビジネススキルⅠ (1)</p> <p>他社理解と信頼関係 (1)</p>	<p>ビジネススキルⅡ (1)</p> <p>地域活動と社会貢献 (1)</p>	<p>情報と職業 (2)</p>	<p>技術者の倫理 (2)</p>
C	<p>[論理的思考とコミュニケーションおよび語学] 情報工学に関するさまざまな課題を論理的に考えて表現する能力、日本語によるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけるとともに、情報技術者として、国際社会に対応するため、外国語によるコミュニケーションについても基礎的な話し合いができるようになる。</p>	<p>英語Ⅰ(基礎) (1)</p> <p>日本語表現法Ⅰ(1) (作文・論文)</p> <p>プロジェクトスキルⅠ(1) (チームワークとリーダーシップ)</p>	<p>英語Ⅱ(応用) (1)</p> <p>日本語表現法Ⅱ(1) (読解・分析)</p> <p>プロジェクトスキルⅡ(1) (問題解決法・入門)</p>	<p>英語Ⅲ(実践) (1)</p> <p>プロジェクトスキルⅢ(1) (問題解決法・応用)</p>	<p>英語コミュニケーション (1)</p>	<p>工業外国語技能Ⅰ (1)</p> <p>日本語表現法Ⅲ(1) (発表・討論)</p> <p>ビジネススキルⅠ (1)</p>	<p>工業外国語技能Ⅱ (1)</p> <p>日本語表現法Ⅳ(1) (実践技術文書作成法)</p> <p>ビジネススキルⅡ (1)</p>	<p>インターンシップ (1)</p>	<p>卒業研究 (8)</p>
D	<p>[数学・情報リテラシー] コンピュータを活用して行う情報の多様な分析・処理・表現に必要なとなる。数学および自然科学を中心とした科学の基礎的な知識を理解し、説明できるようになる。具体的には、数学的な概念や自然現象を、シミュレーションしたり、ビジュアル化(見える化)したりできるよう、数学や科学をよく理解し、数式や論理を用いて説明・表現できることをさす。</p>	<p>基礎数理演習 (2)</p> <p>情報処理法(1)</p> <p>基礎物理 (2)</p>	<p>知能論理数学 (2)</p> <p>微分積分基礎 (2)</p> <p>情報管理法(1)</p>	<p>情報数学 (2)</p> <p>微分積分学Ⅰ (2)</p> <p>線形代数Ⅰ (2)</p> <p>統計分析法 (1)</p>	<p>セキュリティ理論 (2)</p> <p>微分積分学Ⅱ (2)</p> <p>線形代数Ⅱ (2)</p> <p>電気回路Ⅱ (2)</p>	<p>工業数学Ⅰ (2)</p> <p>幾何学Ⅰ (2)</p>	<p>工業数学Ⅱ (2)</p> <p>幾何学Ⅱ (2)</p> <p>確率統計 (2)</p>		

IV. 2015～2017年度入学生用カリキュラム・フロー（情報工学科）

必修科目：
 選択科目：

ディプロマポリシー	ディプロマポリシーの内容	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		E	【計画・実行・まとめ】目標達成のための計画を立案するだけでなく、それを遂行し、さらに、結果のまとめ、検討などといった、一連の作業を順序立てて進め、グループやチームをまとめることができるようになる。さらに、情報システムの構築に関する体系的な知識を基に、プロジェクトの運営や管理も自分から進んでできる(PBL)。	プロジェクトスキルⅠ(1) (チームワークとリーダーシップ)	プロジェクトスキルⅡ(1) (問題解決法・入門)	プロジェクトスキルⅢ(1) (問題解決法・応用)		情報工学プロジェクトⅠ (2)	情報工学プロジェクトⅡ (2)
		体育実技Ⅰ (1)	体育実技Ⅱ (1)					インターンシップ (1)	
F	【倫理と社会的責任】技術者としての倫理観(行ってよいことや行うべきこと、逆に、行ってはいけないことや行うべきではないことを理解し判断できる力)を有し、技術の進歩が社会に及ぼす影響を理解した上で、責任ある行動が取れるようになる。	社会の理解Ⅰ(自然と環境) (2)	人間の理解Ⅱ(民族と宗教) (2) 社会の理解Ⅱ(政治と経済) (2) 情報管理法(1)	人間の理解Ⅲ(歴史と文化) (2) 社会の理解Ⅲ(国際と平和) (2)	人間の理解Ⅳ(心理と行動) (2) 社会の理解Ⅳ(法律と人権) (2) 自己管理と社会規範 (1) 日本国憲法 (2)	他社理解と信頼関係 (1)	地域活動と社会貢献 (1)	情報と職業 (2) インターンシップ (1)	技術者の倫理 (2)
G	【自主性・持続性】情報システム工学に関する知識・技術を、社会に出てからも自主的・継続的に学習し続けて行くことができるようになる。具体的には、自主的な学習の成果としての資格取得や作品制作などに実際に取り組んだ経験を持ち、その取り組みをこれからも継続して行く姿勢を身につけていることをさす。	システムアドミニストレーションⅠ (2)	システムアドミニストレーションⅡ (2) 情報テクノロジー基礎 (2)	情報処理技術者演習Ⅰ (2) マネジメントとストラテジー (2)	情報テクノロジー応用 (2) プログラミング開発演習 (2)	情報処理技術者演習Ⅱ (2) Webシステムプログラミング (2)		卒業研究 (8)	
H	【統合的課題解決能力】これまでに獲得した情報工学に関する専門知識・技術、およびそれらを活用する能力を活用し、現実的な課題に、実際に取り組んだ経験と、今後も解決できる工学技術者としての能力を備えている。					情報工学プロジェクトⅠ (2)	情報工学プロジェクトⅡ (2)	卒業研究 (8)	